

令和2年度 公益財団法人農学会 事業報告書

I. 事業の概要

1. 研究業績の表彰による農学研究の振興事業（公益事業1）

研究業績の表彰による農学研究の振興事業を達成する方策の日本農学進歩賞は、農学に従事している萌芽的な研究成果をあげた若手研究者（40歳未満）を毎年10名程度顕彰する制度である。

令和2年度（第19回）は36機関から40名の推薦があり、10月1日（木）の授賞者選考委員会において授賞候補者11名を選考して理事会に推薦し、10月9日（金）の理事会において受賞者11名（内女性研究者4名）を決定した（延べ196名（うち女性研究者40名））。

11月27日（金）第19回日本農学進歩賞授賞式及び受賞者記念講演等を受賞者、関係者のみにて東京大学農学部弥生講堂において開催した。

授賞式、講演は同時にz o o mウェビナーで配信した。

2. 農学分野における技術者教育等の推進事業（公益事業2）

1) JABEE 技術者教育プログラム審査の実施

令和2年度予定の技術者教育プログラムの審査(6プログラム)は新型コロナウイルス感染症の影響で、翌年度に実施することになったが、審査にむけて審査チームの編成(6プログラム 36名)、審査員への依頼を行った。また、審査員にJABEE本部の講習会、研修会への参加の依頼、審査資料、WEB会議等の説明を行った。

JABEE事務局への審査員情報の提出、受審校との調整等を行った。

2) 農学教育推進委員会並びに農学一般関連分野審査委員会の開催

必要に応じ、農学教育推進委員会、分野別審査委員会の委員長、副委員長でWEB、メールで打合せを行い、各委員にはメールにて情報、報告事項を共有した。

3) 審査員養成事業としての審査講習会の実施

コロナ禍で実施ができなかった。

4) その他

10月に「農学教育」に関連するシンポジウムを予定していたが、中止することになった。

3. 学術講演会等の開催及び出版物刊行による農学研究成果普及事業（公益事業1）

1) (公財) 農学会が主催した学術講演会

① 公開シンポジウム 『ウイルスとたたかう農畜水産』

日時：令和2年11月7日（日）13時00分～17時15分

場所：オンライン開催（Zoomウェビナー）

参加者：登録者207名、最高視聴者数149名、のべ数272名

共同主催：日本農学アカデミー・（公財）農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウオッチジャパン

総合司会 日本農学アカデミー副会長 佐々木昭博

開会挨拶 日本農学アカデミー会長 大政 謙次

【基調講演】新型ウイルスは動物からヒトに感染する -農学への影響-

東京大学生産技術研究所特任教授 甲斐知恵子

【家畜・家禽】家畜・家禽におけるウイルス病

（国研）農研機構動物衛生研究部門ウイルス疫学研究領域長 真瀬 昌司

【水産】水産養殖におけるウイルス病とのたたかい

東京海洋大学海洋生物資源学部門教授 佐野 元彦

【昆虫】昆虫ウイルスの制御と利用

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 勝間 進

【植物】植物ウイルスを知れば利用してみたいくなる！

-知られていない植物ウイルスの世界-

北海道大学農学部植物病原学研究室教授 増田 税

総合討論 司会：日本農学アカデミー副会長 鳥居 邦夫

閉会挨拶 （公財）農学会会長 古谷 研

② 公開シンポジウム 『家族経営農家の飽くなき挑戦と地域創生』

日時：令和3年3月13日（土）13時00分～17時30分

場所：オンライン開催（Zoomウェビナー）

参加者：登録者329名、最高視聴者数214名、のべ数414名

共同主催：（公財）農学会・日本農学アカデミー

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、毎日新聞社、国連食糧農業機関駐日連絡事務所、中山間地域フォーラム、家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン、ワールドウオッチジャパン

総合司会 （公財）農学会常務理事 堤 伸浩

開会挨拶 （公財）農学会会長 古谷 研

趣旨説明 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 溝口 勝

近未来の農業・農村を考える -新潮流と変わらぬ本質-

福島大学食農学類長・教授 生源寺眞一

小規模農家が支える熱帯アジアのコメ生産にICTはやって来るか？

	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	加藤洋一郎
日本酒は故郷の誇り		
	金水晶酒造店代表取締役	斎藤 美幸
家族的小企業のICT水田経営戦略		
	横田農場代表取締役	横田 修一
農家の「ヨメ」の飽くなき挑戦		
	NPO法人田舎のヒロインズ理事長	大津 愛梨
総合討論	司会：東京大学大学院農学生命科学研究科教授	溝口 勝
閉会挨拶	日本農学アカデミー会長	大政 謙次

2) (公財) 農学会が協賛・後援した学術講演会

① 第1回 東京大学農学部オンライン公開セミナー

『ポストコロナ・未来を耕す:多様化する農学の役割』

日時：令和2年6月20日（土）13時30分～17時

場所：zoomによるオンライン開催

主催：東京大学大学院農学生命科学研究科 共催：(公財) 農学会

② 2020年度日本農学会シンポジウム

『水と農学』

日時：令和2年10月3日（土）13時00分～

場所：オンライン(zoomウェビナー)

主催：日本農学会 後援等：(公財) 農学会他

③ 第2回 東京大学農学部オンライン公開セミナー

『東京大学大学院農学生命科学研究科における福島復興支援に係る教育研究の総括シンポジウム』

日時：令和2年10月17日（土）10時30分～17時

場所：zoomによるオンライン開催

主催：東京大学大学院農学生命科学研究科 共催：(公財) 農学会

3) 日本農学進歩賞受賞者講演要旨集の刊行

第19回（令和2年度）日本農学進歩賞受賞者の講演要旨集を200部刊行し、関係者・関係機関並びに共催機関、受賞講演会参加者等に配布した。

4) AGri-Bioscience Monographs の刊行

令和2年度は新たな刊行はなかった。

(執筆済みの原稿については刊行するように出版元に働きかけた。)

4. 学協会等への情報発信事業等の協力並びに支援（収益事業2）

全国農学系学部長会議及び教育研究機関等の情報発信と情報交換等を促進するため、ホームページの作成・更新及び運營業務等を支援した。

5. 学協会等への事務等協力並びに支援（法人事業）

日本農学会と業務委託契約を締結して、シンポジウム開催・成果概要出版及び顕彰事業等の事務補助による協力並びに支援を行った。

6. その他目的を達成するために必要な事業（収益事業1）

コロナ禍のため東京大学農学部弥生講堂及び弥生講堂アネックスの施設利用がなく、学術講演会等で使用する機器類（液晶プロジェクター、スクリーン、ポスター展示パネル等）の貸し出し業務は、行えなかった。

II. 庶務の概要

1. 会議等に関する事項

令和2年度は理事会を4回、評議員会を2回開催し、主に次の事項について審議した。

- ・2019年度事業報告並びに決算報告及び2019年度監査報告について
- ・令和3年度事業計画並びに収支予算について
- ・評議員、監事、理事の選任、代表理事の選定について
- ・学術講演会（公開シンポジウム）の開催について
- ・日本農学進歩賞授賞者の決定について
- ・日本農学進歩賞授賞者選考委員会委員の選任について
- ・基本財産の取り崩しについて

○理事会

開催年月日	審議事項	会議の結果
(第33回) 令和2年6月16日	1. 2019年度事業報告について 2. 2019年度決算報告について 3. 2019年度監査報告について 4. 第9回評議員会(令和2年度定時)について 5. 令和2年度予算について	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認
(第34回) 令和2年7月2日	1. 代表理事(会長)の選定について 2. 日本農学進歩賞授賞者選考委員会委員の選任について 3. 令和2年度の予算について	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

(第35回) 令和2年10月9日 web会議	1. 第19回日本農学進歩賞授賞者の決定について 2. 令和2年度の予算について	全会一致で承認 全会一致で承認
(第36回) 令和3年3月12日 web会議	1. 令和3年度事業計画(案)について 2. 令和3年度収支予算(案)について	全会一致で承認 全会一致で承認

○評議員会

開催年月日	審議事項	会議の結果
(第9回) 令和2年7月2日	1. 議長の選出及び議事録署名人の選出について 2. 2019年度事業報告(案)について 3. 2019年度決算報告(案)について 4. 2019年度監査報告について 5. 評議員、監事、理事の選任について	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認
(第10回) 令和3年2月4日 web会議	1. 議長の選出及び議事録署名人の選出について 2. 基本財産の取り崩しについて	全会一致で承認 全会一致で承認

○日本農学進歩賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年10月1日 web会議	第19回日本農学進歩賞授賞者の選考について	11名の授賞候補者を選考した

2. 寄付金について

なし。

3. 賛助会員について

令和2年度 賛助会員（個人）： 2名

賛助会員（団体）： 0社